

桜尾城と妙見社

種篁沙論

桂公園北面にある妙見社はなぜ桜尾山に建立されたのだろうか。妙見菩薩は近世において海上安全神又は五穀豊穰神として崇拝されている場合もあるが、中世には大内氏、千葉氏、相馬氏、名和氏などの地方豪族により武家の守護神として尊崇されており、桜尾山にある妙見社は守護神（軍神）として勧請されたものとして考察してみよう。

まず大内氏との関係時代に勧請されたと思われる可能性をみると、南北朝の争乱の進行につれて周防の大内氏が安芸国内に勢力を伸ばし、桜尾城を本拠としていた厳島神主家である藤原氏はこれと結んだ。この頃厳島神主は大内弘世の女を妻としており、大内氏との結び付きは濃くなって、以降厳島神主家は大内氏の配下でこれに従った。

大内氏の尊崇をあつめていた曹洞宗を大内氏配下の藤原氏も深い関心を示し、龍文寺の高僧金岡用兼を桜尾城下に招いて洞雲寺を開いており、大内氏の氏神山口の氷上山興隆寺妙見社を分祀して桜尾城の守護神として祀られた可能性は大きい。又、厳島神主家が滅亡した後、桜尾城に大内氏の城番を置いて神領を支配していた頃に守護神として祀られた可能性もある。

明徳2年（1351）12月、大内義弘は明徳の乱の軍功で幕府より和泉・紀伊両国守護職を与えられ、翌年正月「当国（泉州）中妙見を可勧請申候、二月会過候者早々可有御上候」と氏神妙見社を畿内にまで進出させようとしている。

又、義弘は応永元年（1294）安芸国東西条の福成寺別当職を氷上山別当に預けており、福成寺は大内氏の氏寺氷上山興隆寺の末寺となっている。

東西条の地は大内氏領国内の諸郡と並んで氷上山妙見社の大祭である修二月会の費用を廻り持ちする脇頭となっており、大内氏は新所領地に積極的に氏神・氏寺を勧請しようとしていたことがわかる。東広島市の鏡山城は大内氏の安芸国における拠点であった。

これらの地方より古くから大内氏との深い関わりがあった厳島神主家の居城桜尾城に妙見社が大内氏との関係時代に勧請された可能性は大きいものと思われる。

氷上山興隆寺妙見社は大内氏始祖琳聖太子来朝に由緒の深い北辰（北極星）を祀る宮で、鷲頭妙見社（下松市）を氷上山に勧請して大内氏の氏神として定められた古社であり、大内氏の影響下にあった防長両国内には多くの妙見社の分祀が祀られている。天文11年（1542）広島市安佐北区小河内にある妙見社に大内義隆は神料として三段の地を寄進している。

野坂文書によると天文9年（1540）10月厳島の法印豪全は大内義隆の武運勝利を祈り尼子氏退治を願って七箇日の妙見護摩供を成就しており、妙見菩薩は軍神として祀られたことがわかる。

妙見社の本尊妙見菩薩は右手に宝剣を持って亀甲の上に立っており、足元には白蛇がどくろを巻いている軍神の容姿像である。長享元年（1487）9月4日の大内家壁書に「為鷹餌不可用鼈亀并蛇也、既為水上山仕者儼然之処・・事之体可被戮之由」とあり、鼈（スッポン）亀及び蛇は水上山の御仕えのものという堅い信仰に基づき、鷹の餌として鼈（スッポン）、亀、蛇を用いてはならず事の次第によっては死罪にするという極めて厳しい厳令であり、このような大内氏尊崇の水上山興隆寺妙見社を分祀して祀られた可能性は大きい。

又、毛利氏関係時代に守護神として勧請された可能性も残されている。これを伺わせる史料をみると、中国兵乱記に「猿掛山城南の尾崎に、星尾妙現神体、同社に不動像三体、薬師像三体、毘沙門像三体、多々良浜より勧請仕り給ふ。同村萩原大明神両社共に御造営被仰付、毛利より守護神として猿掛城に勧請したことがわかる。

猿掛（猿懸）城は岡山県小田郡矢掛町・真備町場にあり、桜尾城に居た毛利元清が天正3年（1575）備中の押えとして守備した城であり、後中山城を経て天正13年（1587）

に桜尾城に入っている。桜尾城における毛利元清・秀元の在城は約30年間でありその間に守護神として祀られたのだろうか。

桜尾城に妙見社のあることが記録されている文書を見ると、寛永15年(1638)に「めうけん、中畠、六畝十二歩」とあり、めうけんという地名があるのは妙見社が存在していたからである。享保10年(1725)の廿日市御建、御留、御藪、腰林御改帳に「桜尾城山、此御山ノ内妙現森境内六間四方、但先年ヨリ神木ト申伝、御伐セ不被成候」とあり、御建山であった桜尾山の内に六間四方の境内地があるのは、妙見社が桜尾城のあった中世より存続していたからであろう。

本尊の妙見菩薩像には明和7年(1770)、台座裏に明和8年(1771)の墨書銘があるが、前述のとおり寛永15年(1638)の廿日市内後地分地詰帳に「めうけん」のホノギがみられるのは妙見社が存在していたからであり、この本尊は中世のものが再造されたのは間違いないだろう。

[引用文献・廿日市町史資料編・地域社会と宗教の史的研究]